

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
麻生建築&デザイン専門学校		平成9年11月26日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町 3-83 (電話) 0948-25-5999			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士		
工業	工業専門課程	ビジュアルデザイン科				平成25年文部科学省 告示第3号	—		
学科の目的	グラフィック、色彩、印刷、WEBなどの基礎知識や技術を習得することを目的とする。また、広告制作に必要なメディア特性・マーケティングなど実践に即したデザインの流れも学習し、幅広く活躍できるデザイナーを目指す。								
認定年月日	平成26年3月31日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	1830時間	645時間	1380時間	-	-	-		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数				
60人	51人	5人	2人	6人	8人				
学期制度	■前期: 4月1日~8月31日 ■後期: 9月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価、3分の2以上の出席が必要				
長期休み	■夏季: 8月9日~9月2日 ■冬季: 12月21日~1月6日 ■春季: 1月30日~4月3日			卒業・進級 条件	単位を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90%以上 学生としてふさわしい生活態度				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 各種検定対策補講、数学ゼミ(希望者)			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有				
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 広告制作会社、広告代理店			主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)				
	■就職指導内容 面接指導、履歴書指導、求人票説明・指導				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	
	■卒業生数 : 22 人 ■就職希望者数 : 22 人 ■就職者数 : 22 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %				Illustratorクリエイター 能力認定試験	③	22人	21人	
	■その他 : 100 %				Photoshopクリエイター 能力認定試験	③	22人	21人	
(平成 29 年度卒業者に関する 平成30年5月1日 時点の情報)			カラーデザイン検定		③	22人	21人		
※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 東京モーターサイクルショーポスターコンペ 採用1名 名久留米市総合美術展:市長賞1名、特選1名、佳作1名、入15名 福岡ストウーデントコンペティション:審査員特別賞2名 入選5名 モラル・マナー向上ポスターデザイン 優秀賞2名 その他、多数のコンペなどに参加・入賞。									
中途退学の 現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成29年4月1日時点において、在学者49名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者49名(平成30年3月31日卒業者を含む)			■中途退学の主な理由 退学者なし					
■中退防止・中退者支援のための取組 ガイダンス カウンセリング 学生・保護者・担任での三者面談									
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 ・東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を全額免除する。(卒業まで) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数: 1名								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無								
当該学科の ホームページ URL	http://www.asoiuku.ac.jp/act/subject/visual/								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。
また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として設置する。委員会では、次の事項を審議し、会議の結果をカリキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任等により主催されるカリキュラム会議では、教育課程編成委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月31現在

名 前	所 属	任期	種別
植田 義孝	ユーデザイン代表	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	③
三並 恒功	株式会社 PBM 代表取締役	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	③
板橋 正志	ダイキエンジニアリング 人事部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	③
合瀬 理栄	国際カラーデザイン協会	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	①
原 将史	麻生建築&デザイン専門学校 副主任	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	
松本 剛太	麻生建築&デザイン専門学校 教員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	
八尋 誠	麻生建築&デザイン専門学校 教員	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回、開催時期は7月初旬、10月下旬

(開催日時)

平成29年度 第1回 平成29年 6月30日 17:00～18:30
 平成29年度 第2回 平成29年11月24日 15:30～17:00
 平成30年度 第1回 平成30年 6月29日 15:00～17:00
 平成30年度 第2回 平成30年12月 7日 予定

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・動画広告のニーズが高まっているとの情報を得て、H30年度より動画制作に関する課題をデザイン概論にて実施することとした。初歩的なミュージッククリップをイメージした編集スキルを体験する内容から、実際に広告主を想定したものへとステップして行く。

・「調べる」という過程が大切という意見があり、ビジュアルデザイン演習の課題にて適時実施することとした。具体的には、課題の制作過程の見える化を狙い、制作しようとしているものに対し、世間的にどう見えるかといった立ち振舞いをリサーチした上でデザイン制作に入る。思考の過程を強制的に作るという意味で、活用できる学生には有効だと感じる。

・学校外の大人との接触の機会が必要という意見に対し、企業課題を積極的に取り入れることとし、H29後半からH30にかけて確定案件として7件実施することとしている。これにより、特定の学生に限定されるが、大人と接触する機会が増加した。クラス全体には、企業スタッフによる導入授業というスタンスで、質疑応答を行う機会を設けた。

・学生のPCリテラシーの低下の体感と、学習環境の限定される場面が多いという意見を受けて、環境整備としてノートPCを導入することとした。(H30年度入学生より)

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業からの要請等を十分に活かすために企業からのヒアリングやアンケートを行い、その結果を踏まえながらビジュアルデザイン分野に関する職業に必要な4つの分野(エディトリアル・Web・イラストレーション・デジタルフォト)の技術修得に関して、企業との連携により業界でのトレンドなどを加味した極めて実務に近い課題演習を行うことで学生のスキル向上を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

・企業担当者が実務にて活用した素材や企画などを、演習にて使用
担当者が実際担当した顧客の依頼案件に対し、どのように考え、計画し、制作したかのプロセスを示し、実際に使用された素材を学生各自が再構成していく演習を設けている。また、合わせて担当者と学生の直接のアプローチなど適時実施している。
・演習をより実務に近づける
課題への取り組みの現実味の向上を目標とし、学生に「学校の課題だから」ではなく、「仕事としての約束」として取り組む姿勢を意識させる。
・評価は、事前に設定した評価基準に基づき、連携企業の講師が課題の完成度を評価する。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン概論Ⅱ	広告・企業とデザインといった視点から、体系化された実務に近いデザイン論を学ぶ。	クリエイティブルーム ERNEST

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という)の基本方針

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 印刷会社の工場技術の見学と昨今の業界動向の講話

連携企業等: 株式会社ゼネラルアサヒ

日程: 2017年6月6～7日

内容: 印刷技術のトレンド、メディア戦略の実践現場の視察。業界動向 メディア戦略に関する対応 工場視察

対象: 教員2名

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「発達障害の理解について」

連携企業等: NPO法人 発達障がい者就労支援 ゆあしっぷ

日程: 2017年4月26日 16:00～17:30

内容: 学生面談・学生指導における基本的知識を習得する。

発達障害とは何かを理解し、学生との関わり方の基本について学ぶ。

対象: 教員2名

研修名: 「発達障がい者の対応について」

連携企業等: 児童発達支援センターこだま

日程: 2017年8月21日 16:00～17:30

内容: 入門編の振り返り。質問・事例をもとに対応の仕方について学ぶ。日常の関わり方のちょっとしたコツを学ぶ。

発達障がい者への理解を深め、関わり方のヒントを得る。

対象: 教員2名

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 印刷会社の工場技術の見学と、昨今の業界動向の講話

連携企業等: 株式会社ゼネラルアサヒ

日程: 2018年7月9～10日

内容: 印刷技術のトレンド、メディア戦略に関する講話 実践現場の視察

対象: 教員1名

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「睡眠障害への理解について」

連携企業等: 有吉祐睡眠クリニック

日程: 2018年5月23日 15:35～17:05

内容: 睡眠障がいに対する理解を深め、学生に効果的なアドバイスや支援ができるように基本的知識を習得する。

睡眠障がいの基礎知識、現代の生活と睡眠、学生と睡眠について理解し、学生への支援と対応について学ぶ。

対象: 教員1名

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、自己評価の結果を評価しHP等を通して公表する。また、学校関係者評価委員会は、本校の関係者として、保護者・卒業生・地域住民・企業関係者・高等学校関係者・教育に関する有識者で構成する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5)学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11)国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

授業以外でも個人持ちのノートパソコンの活用を促進してほしいとの意見をいただき、自宅学習・ホームワークの推進と、グループワークの効率化のために活用することとしている。また「PCリテラシーが低下傾向にある」という意見を受けて、個人PCを持つことでより活用の機会を増やしスキル向上を図っていくこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
上野 和則	建築工学科在校生保護者	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	保護者
久永 和佳	H29年度 建築工学科卒業生	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	卒業生
川藤 勝治	博多区博多駅南第4区自治会 自治会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	地域住民
高木 秀樹	株式会社 住まいえ 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業関係者
横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業関係者
高崎 強	株式会社 久米設計 九州支社 副支社長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業関係者
戸田 康仁郎	株式会社 大設計 統括本部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業関係者
及川 雅史	株式会社 テクノプロ・コンストラクション 技術課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業関係者
三並 恒功	株式会社 PBM 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業関係者

板橋 正志	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部課長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日(2年)	企業関係者
太田 博文	福岡県立 福岡工業高等学校 校長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	高等学校関係者
井上 勝義	クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	有識者
植田 義孝	ユーデザイン設計 代表	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	有識者
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日(2年)	有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/>

公表時期:平成29年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等との連携及び協力により、実践的な職業教育の質の向上を推進するため、教育活動及び学校運営の状況について情報を提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、ASOの考え、4つのつよみ
(2)各学科等の教育	学科コース一覧、国家資格・検定、就職情報、入学案内
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧))

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/aadc/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ビジュアルデザイン科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジュアルデザイン演習Ⅰ	デザインワークの中でも「アイデア力」の基礎強化、習得を目的とする。	1後	60	4	○			○		○		
○			就職実務ⅠA	就職をすることや働き方、求められる人材像を考えながら仕事について考えていく。	1前	30	2	○			○		○		
○			就職実務ⅠB	就職をすること、デザイナーとして求められる人材像を考えながら仕事について、働くことについて考えていく。	1後	30	2	○			○		○		
○			Illustrator演習	Adobe Illustratorの基本操作と、それにともなった演習を行う。	1前	30	2	○			○			○	
○			Photoshop 演習	Adobe Photoshopの基本操作と、それにともなった演習を行う。	1前	30	2	○			○			○	
○			DTP概論	DTP実務にて必須となるデータの入稿方法など基礎知識を演習形式で学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			DTP演習Ⅰ	DTP実務にて必須となるデータの入稿方法などを実践に則した形で習得する。	1後	60	4	○			○			○	
○			コピーライティングⅠ	広告物の企画制作に必要なライティング能力を学ぶ。	1後	30	2	○			○		○		
○			デッサン・クローキーA	静物・石膏などの立体物を主に、デッサンの基礎を学び、描画力を身につける。	1前	60	4	○			○		○		
○			デッサン・クローキーB	デッサンの基礎トレーニングを継続し、描画力の維持向上を図る。彩色表現など多様な表現のためのトレーニングを行う。	1後	60	4	○			○		○		
○			色彩学A	ビジュアルデザインで重要となる色彩学を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			色彩学B	基礎となる色彩知識をもとに、配色バランスなど例をもとに演習形式で身につける。	1後	30	2	○			○		○		
○			PCリテラシー	MicrosoftOfficeの基礎知識と基本操作を習得する。情報リテラシーを身につける。	1前	30	2	○			○		○		
○			一般教養Ⅰ	就職試験対策を主に、基礎学力の向上を目指す。	1前	30	2	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザインリテラシー	著作権やデザイン文化など、デザイナーとしての一般的教養を学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
○			ビジネスマナーA	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(立ち居振る舞い・敬語・ビジネス文書)	1前	30	2	○			○			○	
○			ビジネスマナーB	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(交際業務・来客対応・電話対応)	1後	30	2	○			○			○	
○			プレゼンテーションI	各自が作ろうとしている物を知ってもらうためのプレゼンテーションを学ぶ。	1前	30	2		○		○				○
○			InDesign 演習 I	Adobe InDesignの基本操作と、それにともなった演習を行う。	1後	30	2		○		○			○	
○			Webデザイン演習 I	Webデザインにおける、ビジュアルデザインに関するリテラシーと制作手法を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			Web基礎演習 A	Webの基本的な仕組みの理解と HTMLとCSSの仕組みを理解する。コードの意味を理解し、Dreamweaverでマークアップできるようになる。	1前	30	2		○		○			○	
○			Web基礎演習 B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	60	4		○		○			○	
○			GCB I	グローバルシティズンの育成をめざし、感謝心と思いやりをもった人材を養成する。	1前	15	1	○			○			○	
○			GCB II	グローバルシティズンの育成をめざし、ビジョンと志をもった人材を養成する。	1前	15	1	○			○			○	
○			デザイン概論	広告・企業とデザインといった視点から、体系化されたデザイン論を学ぶ。	1後	30	2		○		○				○
	○		パッケージデザイン専攻 I (※A)	パッケージ制作に必要なスキルや考え方を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
	○		エディトリアル上級専攻 I (※A)	Adobe InDesignを使用した、誌面構成を主体として学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
	○		デジタルフォト専攻 I (※A)	一眼レフカメラを使用した撮影技法を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
	○		Webデザイン専攻 I (※A)	キャラクターや挿絵制作に関するスキルと考え方を学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	イラストレーション専攻Ⅰ(選択)	キャラクターや挿絵制作に関するスキルと考え方を学ぶ。	1後	15	1	○			○		○		
○			ビジュアルデザイン演習ⅡA	デザインワークの中でも「アイデア力」の基礎強化、習得を目的とする。	2前	60	4		○		○				○
○			ビジュアルデザイン演習ⅡB	発案したアイデアに最適な表現方法を選択し、訴求力の高いデザイン手法による表現を身につける。	2後	60	4		○		○				○
○			卒業制作A	展示会を目的とし、各自がテーマを持ち学科を象徴した作品群の制作を行う。	2後	60	4	○			○				○
○			卒業制作B	集大成となる制作を通じ、身につけた最大限を発揮した作品の制作を行う。	2後	60	4		○		○				○
○			就職実務ⅡA	就職活動における、書類制作や面接についてより具体的な作業を行う。	2前	30	2	○			○			○	
○			就職実務ⅡB	各学生の就職活動の支援。履歴書の書き方や面接の受け方等を、個別にサポートする。	2後	30	2	○			○			○	
○			プレゼンテーションⅡ	資料の演出やストーリーを意識した高度な演習を行う。	2前	30	2		○		○				○
○			WEBデザイン演習Ⅱ	現実的なWEBサイトの構築を学ぶ。	2前	60	4		○		○			○	
○			DTP演習ⅡA	DTPでの入稿データ制作を目的とした、極めて実務に近い実技演習を行う。	2前	60	4		○		○				○
○			DTP演習ⅡB	印刷物の入稿データのルールに沿った制作を行い、実務で用いる事例について学んでいく。	2後	60	4		○		○				○
○			ペイント技法A	エンボスカードやポスターや絵画の制作を行う。	2前	60	4		○		○			○	
○			ペイント技法B	サイズの大きいポスター制作に臨む。アイデアの創出から基本的な構想、表現手法の選択、制作計画等を踏まえた制作に臨む。	2後	60	4		○		○			○	
○			一般教養Ⅱ	就職試験対策を主に、基礎学力の向上を目指す。	2前	30	2	○			○			○	
○			ブランディングデザイン	制作物を一連の統一されたデザイン群として捉えたブランディングを行う。	2後	30	2		○		○				○
○			デザイン概論Ⅱ	企業と顧客をつなぐ広告やプロモーションに着目し、販売促進のためのデザインやデザインの社会的役割について学ぶ。	2前	30	2		○		○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コピーライティングⅡ	広告物の企画制作に必要なライティング能力を学ぶ。実例を挙げ演習形式で制作を行う。	2前	30	2	○			○	○			
○			作品制作	コンペティションを主体とした、デザインリテラシー向上を目的とした作品制作を行う。	2後	30	2		○		○			○	
○			InDesign 演習Ⅱ	InDesignを用いた実務的なデータ制作手法について学ぶ。エディトリアルデザインへつながるページデザインまとめについて学ぶ。	2前	30	2		○		○			○	
	○		パッケージデザイン専攻ⅡA(※B)	パッケージ制作の実例について学び、自作パッケージのための習作を行う。	2前	30	2		○					○	
	○		デジタルフォト専攻ⅡA(※B)	一眼レフカメラ、照明器具の使用法を踏まえ、多様な表現のあり方を学ぶ。	2前	30	2		○					○	
	○		エディトリアル上級専攻ⅡA(※B)	一貫したテーマを持った誌面構成の作成について学び、より実践的なエディトリアルデータの作成を行う。	2前	30	2		○					○	
	○		Webデザイン専攻ⅡA(※B)	企画から制作まで一貫した実践的コンテンツ制作を学び、制作の各段階に必要な知識を習得する。	2前	30	2		○					○	
		○	イラストレーション専攻Ⅱ(選択)	基本操作をもとに実務的な活用シーンを想定したイラストレーション制作を行う。	2後	30	2		○					○	
	○		パッケージデザイン専攻ⅡB(※C)	I、IIAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるパッケージ制作を行う。	2後	15	1		○					○	
	○		デジタルフォト専攻ⅡB(※C)	I、IIAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるフォト作品の制作を行う。	2後	15	1		○					○	
	○		エディトリアル上級専攻ⅡB(※C)	InDesign演習、エディトリアル上級ⅡAの授業を踏まえ、各自のテーマにおけるエディトリアル作品の制作を行う。	2後	15	1		○					○	
	○		Webデザイン専攻ⅡB(※C)	Webペーに限定しない、各自テーマによるWebコンテンツ制作を行う。	2後	15	1		○					○	
合計			49科目		1830単位時間(122単位)										

※選択必修科目は※A、※B、※Cの中から、それぞれ2科目を選択する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目(実習を含む)に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 ②出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。 ③国土交通省が定めた規定の時間を満たした者 ④学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週